

経営学部 リフレクションペーパー

(2009年度後期授業アンケート結果に基づいて)

教員氏名 [大内 秀二郎]

1. 授業担当科目名

流通システム論Ⅱ ※水曜1限・木曜6限の2クラス開講

流通企業戦略論Ⅱ ※火曜6限・金曜4限の2クラス開講

2. アンケート結果に対する感想

10段階評価は、流通システム論Ⅱが8.5(水1クラス)と8.8(木6クラス)、流通企業戦略論Ⅱが8.9(火6クラス)と8.5(金4クラス)であった。受講者数の多いクラス(水曜1限の流通システム論Ⅱ、金曜4限の流通企業戦略論Ⅱ)の評価が若干下がったものの、引き続き高い評価が得られたと考えている。個別の質問項目に関しては、前期と同様、「教員はクラスの勉学の雰囲気を保つように努めていましたか」に対する評価が低く、また自由記述においても「私語に対する注意をもっとしてほしい」という趣旨のコメントが散見された。改善が不十分であったとして大いに反省すべき点である。流通企業戦略論Ⅱでは、パワーポイントのスライドショーを活用した講義を数回実施したが、受講者のコメントには「スライドが見にくい」、「進行がはやすぎる」などの意見が多くあり、改善の余地が大きいと感じている。新聞記事や映像資料などを提示しながら講義をするというスタイルに対しては、「ビデオなど身近な具体例を用いる教材のため、非情に理解しやすかった」、「興味があることなのでとても楽しい」など概ね好評であった。その他、アンケート結果の内容に関するものではないが、前期と比較して出席率(有効回収率)が大きく下がっていたことは、憂慮すべき事態であろう。

3. 来年度改善したいと思う点

前期のリフレクションペーパーに「今後は、『学生の興味を喚起し理解を促す』講義の実現により私語が自然に減少する状態を理想としたい」と記したにも関わらず、今期全く改善が見られなかった。この点は猛省したい。講義環境の悪化は、当事者の学習効果が期待できないのみならず、やる気のある周囲の学生の学習意欲を減退させてしまうという点でも、早急に改善すべきである。来期は、私語をその都度指摘し注意するなど、これまで以上にこちらから積極的に静粛な講義環境の維持を図りたい。パワーポイントに関しては、1コマの講義すべてをスライドショーで実施するのではなく、あくまで板書を補完するものとして活用したい。